



sentement, outre
tez, qui en feusser
maine, n'eust eu
manieres de parler. Laquelle diuersité, & con-
fusion, se peut à bõ droict appeller la Tour de
Babel. Donques les Langues ne sont nées d'el-
les mesmes en façon d'Herbes, Racines, & Ar-
bres: les vnes infirmes, & debiles en leurs espé-
ces: les autres saines, & robustes, & plus aptes
à porter le faiz des cõceptions humaines: mais

慶應義塾大学

大学院 文学研究科

仏文学専攻

la fin tu es né monde ancien
bergere ô tour Eiffel le troupeau des ponts bêle ce
tu en as assez de vivre dans l'antiquité grecque et
romaine
l'air d'être anciennes
est restée neuve la religion
ars de Port-Aviation
Seul en Europe tu n'es pas antique ô Christianisme
L'Européen le plus moderne c'est vous Pape Pie X
Et toi que les fenêtres observent la honte te retient
D'entrer dans une église et de t'y confesser ce matin
Tu lis les prospectus les catalogues les affiches qui
chantent tout haut



教員

授業と研究

留学



入学試験

修士論文

Q&A



教員

現在、仏文学専攻にはフランス人教員1名を含めて11名の専任教員がいます。その専門は近世から現代までの文学、思想、そして語学と、幅広い分野にわたっており、大学院生の多様な関心や要求に的確に対応することができます。日本の大学の仏文学専攻としては屈指といえる、充実した教授体制です。

Se li felon de cest'enor,
Por qui jadis vos combatistes
O le Morhout, quant l'oceïstes, 28
Li font acroire (ce me senble)
Que nos amors jostent ensemble,
Sire, vos n'en avez talent;
Ne je, par Deu omnipotent, 32
N'ai corage de drüerie
Qui tort a nule vilanie.
Mex voudroie que je fuse arse,
Aval le vent la poudre esparsse, 36
Jor que je vive que amor
Aie o home qu'o mon seignor;
Et, Dex! si ne m'en croit il pas.
Je puis dire : de haut si bas! 40
Sire, mot dist voir Salemon :
Qui de forches traient larron,
Ja pus nes amera nul jor.
Se li felon de cest'enor 44
.....
.....
.....
.....
..... 48
a nos deüsent il celer.
Mot vos estut mal endurer
De la plaie que vos preïstes
En la batalle que feïstes 52
O mon oncle. Je vos gari.
Se vos m'en erïez ami,
N'ert pas mervelle, par ma foi!
Et il ont fait entendre au roi 56
Que vos m'amez d'amor vilaine.
Si voient il Deu et son reigne!

専攻の教員全員が大学院生の指導教員になれるわけではありませんが、皆さんの専門領域に応じて、指導教員ではない教員も実質的な研究指導に当たることができます。

教員の専門分野や業績については、慶應義塾大学文学部の[教員紹介](#)を参照してください。

とくに修士課程では、院生にすべての設置科目を履修するように指導しています。指導教員以外の教員からも多彩な学識を吸収してもらうためです。狭い専門領域に閉じこもることなく、つねに開かれた視野で文学、思想、語学に接する態度を培うこと、それが本専攻の大きな特色の一つです。

Pour en développer l'embarras incertain
 Ma Sœur du fil fatal eust armé vostre main,
 Mais non dans ce dessein je l'aurois devancée,
 L'Amour m'en eust d'abord inspiré la pensée,
 C'est moy, Prince, c'est moy dont l'utile secours
 Vous eust du Labyrinthe enseigné les détours,
 Que de soins m'eust cousté cette Teste charmante,
 Un fil n'eust point assez rassuré vostre Amante,
 Compagne du peril qu'il vous falloit chercher,
 Moy-même devant vous j'aurois voulu marcher,
 Et Phedre au Labyrinthe avec vous descendue,
 Se seroit avec vous retrouvée, ou perdue.

H I P P O L Y T E.

Dieux! Qu'est-ce que j'entens? Madame, oubliez-vous
 Que Thetée est mon Pere, & qu'il est vostre Eponx?

P H E D R E.

Et sur quoy jugez-vous que j'en perds la memoire,
 Prince? Auroisje perdu tout le soin de ma gloire?

H I P P O L Y T E.

Madame, pardonnez. J'avouë en rougissant,
 Que j'accusois à tort un discours innocent.
 Ma honte ne peut plus soutenir vostre veuë,
 Et je vais...

P H E D R E.

Ah! cruel, tu m'as trop entenduë
 Je t'en ay dit assez pour te rirer d'erreur.
 Hé bien! Connoy donc Phedre, & toute sa fureur.
 J'aine. Ne pense pas qu'au moment que jet'aine,
 Innocente à mes yeux je m'approuve moy même,

授業と研究

少人数を対象とした密度の高い授業や研究指導によって、研究者に求められる種々の能力を育成していきます。

修士課程1年生では、フランス語の読解力、表現力を徹底的に磨き、同時に研究の基礎を学びます。

2年生では、その基礎を応用し、また習得したフランス語力を駆使しながら、修士論文の完成を目指します。

博士課程の院生は、指導教授の指導のもと、各種紀要への寄稿、国内外の学会での発表、留学による研究を行い、それらを博士論文へと集約させます。

毎年、秋（9月末～10月初）には、研究発表会が開催されます。修士課程の院生（おもに2年生）は修士論文の構想と内容の一部を、博士課程の院生は研究の進捗状況を、報告します。

さらに研究成果を発表する場として、査読付の論文集（研究室紀要）を年1回刊行しています。編集作業は修士課程、博士課程の院生が担当して、アカデミックな論集作成を実地に体験するよい機会となります。

留学

皆さんのなかには、留学を考えている方も多いでしょう。仏文学専攻の日本人教員全員が留学を経験し、フランスの博士号を取得していることもあって、とくに博士課程の院生には強く留学を奨めています。これまで、慶應義塾大学の交換留学制度やフランス政府給費留学制度を活用して、多くの院生が留学という貴重な体験をしてきました。

TRAITÉ
SUR LA
TOLÉRANCE,
A l'occasion de la mort de Jean Calas.

CHAPITRE PREMIER.

Histoire abrégée de la mort de Jean Calas.

LE meurtre de Calas, commis dans Toulouze avec le glaive de la Justice, le 9me Mars 1762. est un des plus singuliers événemens qui méritent l'attention de nôtre âge, & de la postérité. On oublie bientôt cette foule de morts qui a péri dans des batailles sans nombre, non-seulement parce que c'est la fatalité inévitable de la guerre, mais parce que ceux qui meurent par le fort des armes, pouvaient aussi donner la mort à leurs ennemis, & n'ont point péri sans se défendre. Là où le danger & l'avantage

留学にはいくつかの形態があります。

- ① 慶應義塾大学が交換協定を結んでいる、ENS（高等師範学校）、パリ第3大学、リヨン第3大学、トゥールーズ第1大学など（国際センター）への留学。
- ② フランス政府をはじめとする公共機関（フランス政府留学局）が奨学金を提供する給費留学。
- ③ 自費、あるいは民間の奨学金を利用した留学。

書類や面接での審査を経て決定される制度がほとんどですが、仏文学専攻では、留学準備や留学中の研究に必要なフランス語運用能力を養成するために、フランス人教員によって口頭発表や文章作成の集中的な訓練が行われます。

CORRESPONDANCES

La Nature est un temple où de vivants piliers
Laissent parfois sortir de confuses paroles ;
L'homme y passe à travers des forêts de symboles
Qui l'observent avec des regards familiers.

Comme de longs échos qui de loin se confondent,
Dans une ténébreuse et profonde unité,
Vaste comme la nuit et comme la clarté,
Les parfums, les couleurs et les sons se répondent.

入学試験（修士課程）

修士課程第1次入学試験（筆記）は次の3科目で行われます。

「指定言語」（フランス語）

「専門科目」（論述式）

「選択言語」（フランス語以外）

過去問題（「指定言語〔旧指定外国語〕」と「選択言語〔旧選択外国語〕」は出典のみ）は、[大学院入学案内](#)で閲覧とダウンロードができます。

「指定言語」（フランス語）については、読解力と表現力が問われます。普段から異なる時代、異なるジャンルのフランス語の文章を読み、また正確なフランス語を書く訓練もしておく必要があります。

「専門科目」は、文学・思想系の問題と言語系の問題のどちらかを選んで解答します。

文学・思想系の問題には、中世から現代までの文学・思想史の個別事項にくわえ、時代を横断するテーマや事象についても勉強したうえで、臨んでください。

言語系の問題では、フランス語の文法（冠詞や時制など）、レトリック、一般言語学的問題（とくに意味論と語用論）など、広範な知識を問います。

受験準備に役立つ書籍を、文学・思想系と言語系のそれぞれについて、いくつかあげておきます。

文学・思想系

- 饗庭孝男ほか編『フランス文学史』（白水社）
- 慶應義塾大学文学部フランス文学研究室編『フランス文学をひらく』（慶應義塾大学出版会）
- 岩根久ほか『フランス文学小事典』（朝日出版社）

言語系

- 六鹿豊 『これならわかるフランス語文法』
(NHK出版)
- 東郷雄二 『中級フランス語 あらわす文法』
(白水社)
- オリヴィエ・ルブール 『レトリック』 佐野泰雄訳
(白水社、文庫クセジュ)
- 斎藤純男ほか編 『明解言語学辞典』 (三省堂)

第2次試験（口頭試問）では、志望動機や研究計画を中心に、質疑応答が行われます。自分がこれまでどのような勉強をして、それを踏まえて大学院ではどのような研究をしたいと考えているのかを、明瞭かつ具体的に話せるように準備してください。

また、フランス語での基本的なコミュニケーション能力も確認されますので、実践的なフランス語についても日頃の鍛練を怠らないことが大切です。

修士論文

大学院修士課程に入れば、一番の目的はもちろん、自分の研究を修士論文としてまとめ上げることです。皆さんとしては、実際にこれまでどのような修士論文が書かれてきたのか、気になるところでしょう。いくつかを紹介します。

DU CÔTÉ DE CHEZ SWANN

PREMIÈRE PARTIE

COMBRAY

I

Longtemps, je me suis couché de bonne heure. Parfois, à peine ma bougie éteinte, mes yeux se fermaient si vite que je n'avais pas le temps de me dire : « Je m'endors. » Et, une demi-heure après, la pensée qu'il était temps de chercher le sommeil m'éveillait ; je voulais poser le volume que je croyais avoir encore dans les mains et souffler ma lumière ; je n'avais pas cessé en dormant de faire des réflexions sur ce que je venais de lire, mais ces réflexions avaient pris un tour un peu particulier ; il me semblait que j'étais moi-même ce dont parlait l'ouvrage : une église, un quatuor, la rivalité de François I^{er} et de Charles Quint. Cette croyance survivait pendant quelques secondes à mon

- Les jeux de mots : le décodage et les clefs
- Montaigne et le malentendu : analyse du début de l'essai "De la gloire"
- 童話における死 — ペロー童話より「赤ずきんちゃん」を中心に —
- 『新エロイーズ』における「恥じらい」について
- 『レ・ミゼラブル』における下層社会の表象 — 欺瞞から真実へ
- アロイジウス・ベルトラン『夜のガスパール、レンブラント、カロー風の幻想曲』における二元論について

まず、執筆言語に注目すると、最初の言語系の論文「Les jeux de mots」と次の「Montaigne et le malentendu」は、フランス語で書かれています。修士論文は、フランス語での執筆も可能です。その場合には、フランス人教員が添削し、さまざまなアドバイスを提供してくれます。

以下、幅広い時代、作家、ジャンル、テーマが取り上げられていることがわかります。17世紀のペロー童話があり、『新エロイーズ』（ルソー）は18世紀、最後の2つは19世紀で、『レ・ミゼラブル』（ユゴー）は小説、ベルトランは散文詩です。

さらに見ていきましょう。

- 19世紀パリの消費文化とゾラ — 中央市場とデパートに向けたまなざし —
- マルセル・ブルーストの読書論 — 読者と作者による共同的創造 —
- フランソワ・モーリヤックと遠藤周作
- バタイユにおける主体の消失と生成について
- 女性シュルレアリストの自己表象 — メレット・オッペンハイムとリー・ミラーのコラージュをめぐって
- ル・クレジオと交錯する時間：空間、登場人物の変奏を巡って

ゾラ論については、「消費文化」という言葉からも、文化史との接点が強く感じられます。

プルーストの読書論以降はすべて20世紀です。モーリヤックと遠藤周作についての論文は比較文学論です。バタイユの思想に正面から取り組むもの、文学と前衛芸術の関係を論じるものもあります。ル・クレジオのような、存命の現代作家を研究対象にすることもできます。

このように見てくると、皆さんがどのようなジャンル、どのような作家に関心を持っていても、仏文学専攻としては受け入れる準備が整っているということがわかるでしょう。

Q&A

Q 他大学の卒業生（卒業見込）ですが、受け入れてもらえるでしょうか？

A まったく問題ありません。そのことが入試や入学後の研究指導において不利になることはありません。仏文学専攻の教員としては意欲のある方ならどなたでも大歓迎です。実際にこれまで、修士課程にも博士課程にも、他大学出身の院生が在籍してきました。

Q&A

Q 仏文科の出身ではないのですが……。

A その点も心配する必要はありません。広い意味でフランスの文学、思想、言語に関わることを研究したい方であれば、どなたでも歓迎します。重要なのは、これまでどの学科、専攻に在籍していたかではなく、たとえ独学でもすでにフランス語を学習し、それなりの読書経験を経て、仏文学について一定の知識を有しているということです。

Q&A

Q テーマはフランスの文学、思想、言語に限定しなければならないのでしょうか？

A 必ずしもそうではありません。紹介した修論題目からもわかるように、領域をまたぐような研究をする院生もいます。文学と映画や、フランス語圏文学についての研究、さらにはカルチュラルスタディーズ系の研究をすることも可能です。ただし、いたずらに領域を拡散すればよいというものでもなく、やはりひとつの、核となる問題意識を持つ必要はあります。

Q&A

Q 大学院生同士で交流できるような雰囲気はありますか？

A はい、あります。院生同士の情報交換や知的交流は研究にとっても重要なことです。教員には聞きづらくても、院の仲間になら気軽に相談できるということもあるはずです。また、授業とは別に自主的な勉強会や読書会が開かれることもあり、またとない切磋琢磨の場です。また、留学については、現在留学中の先輩、あるいは最近留学から帰国した先輩からの情報が、頼りになるでしょう。

Q&A

Q 奨学金を受給することは可能ですか？

A 必要とされる条件を満たせば、もちろん可能です。塾内の奨学金としては、「慶應義塾大学大学院奨学金」や「研究のすゝめ奨学金」などがあります。詳しくは[奨学金案内](#)を参照してください。

Q&A

Q 修士修了後の進路は博士課程進学しか考えられませんか？

A いえ、進路は千差万別です。一般企業に就職する方もいれば、中学や高校の教員になる方もいます。修士課程で集中的に学び、修論を書き上げるという経験は、社会に出てからもおおいに役立っているようです。もちろん、自分の研究をいっそう深めるべく博士課程に進学する先輩が多くいることは、いうまでもありません。

慶應義塾の仏文学専攻は寛容の精神に富み、
学究のよろこびに溢れる専攻です。

研究に打ち込む皆さんを、

教員一丸となって
支えます。

**仏文学専攻で、
ともに学びましょう！**